

SALVADOR

小井沼眞樹子宣教師と共に歩む会会報

代表：松本敏之、大倉一郎
事務局：横浜港南台教会 中沢 謙
〒234-0054 横浜市港南区港南台 7-8-29
Tel 045-833-5323 Fax 045-833-6616
郵便振替口座番号：00210 - 2 - 97571

新しい任地、新たな出会い

小井沼眞樹子

サルバドールから初めてお便りいたします。
私は今年2月から、ヴァレリオ・シルヴァ合同長老教会に着任しました。新しい土地で、新たな出会いが始まっています。まず、新任地はどんなところか、どんな人々といっしょに歩み始めたのか、この3カ月の間に見えてきた現場の課題などについて、ご紹介したいと思います。



ダゴベルト牧師、エウリーナさんといっしょに朝のカフェ。



わたしの住んでいる地区



庭で採れたマンゴー

サルバドールに着いて最初の1週間は、ダゴベルト牧師の家でお世話になりました。真冬から真夏への移動、昼夜逆転の時差に適應するために牧師夫妻の親切のなかでゆったり心身を整え、ポルトガル語の会話にエンジンをかけ…それから牧師の協力の下でアパート探しを始めますと、すぐに好条件の物件に出会い、そこへ入居することができたのです。まずは順調なスタートでした。感謝！

サルバドールはどんな都市？

- ・ブラジル北東部バイーア州の州都
- ・人口約300万人
- ・サンパウロ、リオに次ぐ第3の大都市
- ・ユネスコにより世界遺産に登録(1985年)
- ・ブラジル最初の首都(1549-1763年)
- ・砂糖産業、奴隷貿易の拠点として発展
- ・現在人口の80パーセントが黒人系
- ・アフロ・ブラジル文化の中心地
- ・サンバやカポエイラはここから生まれた
- ・350もある教会→別名「黒いローマ」
- ・ブラジル観光名所の一つ
- ・正式名：São Salvador da Bahia de Todos os Santos
(諸聖人の湾の聖なる救世主)



私のアパートの窓から見た景色。高層ビルの間から海が見える。



市内の至る所に見られる貧困居住区。

1. 所在地区

サルバドールの居住区はくっきりと二極分化しています。私が住んでいるのはたぶん高級住宅地。一方、市内を車で走ると至る所に貧困居住区が見えてきます。その規模の大きさには愕然とさせられます。ヴァレリオ・シルヴァ合同長老教会もそのような地域の中にあります。5メートルほどもある高台の上に建てられていて、急な勾配の階段を登るのは私でも容易ではありません。足腰の弱っている高齢教会員にはなおさらのこと。また付近の住人も教会の建物が見えにくく、入り口が高いので気軽に入れにくいことは確かです。



教会の高台から見た積み重なる家々。



道路から見上げた教会の前景。

2. 沿革

ヴァレリオ・シルヴァ合同長老教会(以後ヴァレリオ教会と略す)の歴史は古く、105年前に黒人女性たちが洗濯業を始め、そのグループが伝道拠点となり、その後伝道所に発展。1960年に教会として創立し、当時はブラジル長老教会に所属していました。教会創立当初に大きな足跡を残したのは、ひとりのアメリカ人宣教師でした。現在の会堂はその当時建てられたものです。日曜礼拝には、会衆でいっぱいになったと言います。隣接する託児所は最近改築され使われています。

ブラジルに軍事独裁政権が始まると(64年)、軍政を黙認している長老教会執行部への批判が起こり、内部は分裂、反対派は迫害され追放されました。彼らは既存の教派に属さず、やがて FENIP (長老教会連合) の名で新組織を発足させ(78年)、ヴァレリオ教会もそこに連なりました。その後 FENIP はその社会的設立理由を明確にして、ブラジル合同長老教会と改名したのです(83年)。

ブラジル合同長老教会の設立理由

- ・現代社会の課題を正しく把握し、正義、平等、平和を求める福音宣教を行う。
- ・社会的弱者の側に立つ教会。
- ・女性や若者の牧師職、長老職を認める。
- ・他教会とのエキューメンカルな関係を重視。

3. 教会活動

《日曜日》

教会学校 午前 9 時－10 時 15 分

礼拝 午前 10 時 30 分－11 時 45 分



3 月 27 日バスコア(復活祭)礼拝



教会学校が始まる前

《水曜日》 午前 8 時－午後 4 時

社会奉仕：洋裁教室(午前と午後 2 クラス)
15 年前から始まった。

ミシンは 10 台あるが現在生徒は 4－5 名。
材料を持参して、作り方を指導してもらう。

月謝 50 へアイス。

講師への謝礼には外部からの援助がある。

朝のカフェと昼食をいっしょにする。

世話人ジウライニさん(写真左端)の献身的
奉仕によって支えられてきた。

講師はデナーさん(右端)。

4. 現状と今後の課題

とにかく参加人数の少ない小さな教会です。
日曜日に来る人は、牧師を入れても二桁の数字になることが珍しい。どうして人数が減ったのか、一番の理由は昨年ダゴベルト牧師が赴任する前、3 年間無牧であったことでしょ

う。またこの地区の教会員が皆高齢になり、高台に建つ教会まで上って来られなくなっていること。長老という責任ある立場の信徒たちは皆車に乗って遠方から通っている人々で、毎週来る人はわずかです。

またこの周辺は治安がよくないので夜の集会はなく、目下、昼の祈祷会も家庭集会もありません。日曜礼拝の後には、ほとんど交わりの時もなくサーっと帰っていきます。

水曜日の洋裁教室に参加する女性たちは地域の住人ですが、礼拝に参加することはまれです。作業の合間に生活上の問題についてしゃべっていますが、私には内容がよくつかめません。私は開始時間から一緒にいますが、ダゴ牧師も昼近くには顔を出し、その時に教会活動に関する打ち合わせをします。午後はできるだけ一緒に訪問することにしています。

月に 1 度礼拝説教を担当する以外、具体的な奉仕が何もなく、アパートで一人黙想の時を過しつつ、家事や料理に精を出し…孤独ですが、静かで深い観想修道会の生活のよう。イエスさまの荒野の体験を思い起こします。とにかく教会活動を元気にしていくために、定期的な三者会談(牧師とジウさんと私)を持ち、祈りたいと願っています。ここ、サルバドールは、すべてがその場で決まって動いていく風土のようで、付いていくのはなかなか大変です。



連絡先

Rev.MAKIKO KOINUMA

省略 Salvador-BA CEP40150-480

BRASIL

省略@gmail.com

Tel: -省略

会計報告

2015.4.1～2016.3.31

収 入		支 出	
項 目	累 計	項 目	累 計
会費・特別献金		支援金	
利息		海外保険	
		事務費	
		振込手数料	
		会堂使用料	
		集会費	
小 計		小 計	
前年度繰越金		次年度繰越(通常)	
合 計		合 計	

収 入		支 出	
項 目	累 計	項 目	累 計
音楽・施設・センター献金		支援金	
		振込手数料	
前年度繰越金		次年度繰越	
合 計		合 計	

2015 年度 小井沼眞樹子宣教師と共に歩む会献金者 2015.4.1～2016.3.31
 年会費・特別献金者名（敬称略・順不同）

省略

音楽・センター献金者名（敬称略・順不同）

省略

編集後記

中 沢 譲

小井沼眞樹子宣教師の応援団に参加させて頂くことになりました中沢です。よろしくお願ひします。

新しい宣教の場で活動を開始された小井沼宣教師から、[SALVADOR]という新タイトルで報告が届きました。そのホットな情報をそのまま支援者の皆様にお届けいたします。

私が小井沼宣教師とお会いしたのは、2年前になります。小柄でいつもニコニコされている明るく気さくなこの方のどこに、ブラジルの地で、

ひとりで働こうとするパワーが秘められているのかと、ずっと不思議に思っていました。何度かお会いするうちに、主イエスが彼女の傍らにいて、たえず彼女を支えておられることに気づかされました。その主の働きをサポートするのが、この会に与えられた役割であることを今は確信しています。

引き続き、小井沼眞樹子宣教師へのご支援をよろしくお願ひします。彼女を応援することを通して、主のみ業の実現に、共に参加していきたいと思ひます。